

SCOUTING

2022
No.749
5



特集

2022年度事業計画

富士特別野営2021

第49回全国ボーイスカウト写真コンテスト



写真: 第49回全国ボーイスカウト写真コンテストより

CONTENTS

02 2022(令和4)年度 事業計画
06 日本連盟創立100周年記念事業
07 第18回日本スカウトジャンボリー
08 富士特別野営2021
12 第49回全国ボーイスカウト写真コンテスト
入賞作品発表!
14 2021年度(第40回)富士スカウト代表表敬
15 2022(令和4)年度 全国大会
15 スカウトの夢
16 野外活動のための安心・安全講座
そなえよつねに共済 事故データ分析
18 全国防災キャラバン
19 第25回世界スカウトジャンボリー (25WSJ)
19 信仰奨励
20 スカウトの日 ～プラごみバスターズ大作戦～
21 ローカルホットライン
21 維持会員
22 キャンプ場ガイド
23 スカウトショップ



2022(令和4)年度 事業計画

2022年度 私たちのミッション

創立100周年を機に、
未来に躍進できるスカウト運動を
目指すことにより、
より良き社会を創ります

日本連盟のスカウト運動の「使命」と「展望」

使命(ミッション) 「個人の資質をのばし、地域社会と世界に役立つ青少年を育てます」

展望(ビジョン) 「日本のスカウト運動は、青少年教育の中心的役割を果たしつつ、
この運動の目的、使命を達成いたします」

これらは、2002(平成14)年3月に長期戦略計画の一環として策定しました。

2015(平成27)年に策定した長中期計画ではこの使命と展望を確認し、「活動的で自立した
スカウトを育てる」ことを目指してきました。

これらを受け、創立100周年を迎えた2022年度は「私たちのミッション」を策定し、
右記の最重点施策と成果目標等を定め、事業や施策等を展開します。

最重点施策 スカウト活動をより多くの仲間に提供します**成果目標** 2023年3月末日までに、
加盟登録人数83,000人以上を目指します**最重点事業**

下記2事業を最重点事業に位置づけて取り組みます。

1 ワクワク自然体験あそびの全国展開**2** 100周年事業の展開

- (1) 第18回日本スカウトジャンボリー
- (2) 100周年記念式典
- (3) 100周年キャラバン事業（防災キャラバン）
- (4) 記念史発行事業
- (5) プラごみバスターズ大作戦
- (6) 100周年募金事業（未来の子どもたち基金、ミュージアム事業等）

**最重点施策の具体的な取り組み****1** スカウト活動を活性化するための事業

- (1) より魅力あるプログラムを提供します。
- (2) 地域社会認知の向上を目指す事業を展開します。
- (3) 情報伝達改革を推進します。
- (4) 中途退団抑止を推進します。
- (5) 組織の意思決定への若者、女性の参画を推進します。
- (6) ユース年代への情報・機会の提供を推進します。
- (7) 必要なスカウトに対し、「ともに進もう（ひとり親家庭等応援助成）プログラムを推進します。
- (8) 安心な共済制度運用と安全教育（保全と予防）を推進します。
- (9) 隊指導者の必要としている支援を強化します。
- (10) 団組織の強化推進を支援します。
- (11) 新登録制度を検討、構築します。
- (12) スカウトOBの活動への参画を推進します。
- (13) 国際交流活動の魅力周知と参加を促進します。
- (14) 海外の各国スカウト連盟（NSO）、アジア太平洋地域（APR）、世界スカウト機構（WOSM）との協力を強化します。

2 日本連盟組織の強化と透明化施策実行

今年度からの日本連盟組織変更の効果を出すため、以下の事項を集中的に実行します。

- (1) 日本連盟の意思決定プロセスの見える化を推進します。
- (2) 事務局機能の効率化と人財育成を推進します。
- (3) 効率の良い会議への改革を推進します。
- (4) 日本連盟全体でのSfH（セーフ・フロム・ハーム）とガバナンス強化を推進します。
- (5) 若者および女性の組織意思決定への参画を推進します。
[1 - (5)と共通]
- (6) 維持会員、新たな形での協力者の更なる確保を推進します。
[1 - (11)と共通（新登録制度への反映）]
- (7) Web会議等の活用によるコミュニケーション活性化を推進します。
- (8) 担当業務別の責任、権限の理解促進研修を実施します。

3 101年目からの中長期計画を2022年度中に策定、周知

- (1) 我々のミッション、ビジョンの明確化と周知をはかります。
- (2) 加盟員の意見を反映させた中長期計画を策定します。
- (3) 日本連盟主催大会の在り方を検討します。
- (4) 日本連盟の経営、事務局強化を推進します。
- (5) 日本連盟資産（不動産、動産、特定資産）の活用と見直しを推進します。

その他の事業**1** ベンチャースカウトフォーラム**2** 全国大会**3** 富士特別野営**4** SGDs協働事業の全国展開（100周年事業）**5** 防災キャラバンの全国展開（100周年事業）**6** 海外派遣の実施**7** 指導者訓練実施**8** 各種セミナー開催**9** 県連盟への情報伝達と意見聴取のための会議開催**10** 次年度以降の各種大会準備

13NA、25WSJ 派遣、全国大会、富士特別野営等

※ 具体的事業内容については、2022年度の組織変更と役員、委員の改選に伴い、多少の変更が生じる場合があります。

インタビュー #01

100周年を機に、 未来に躍進できるスカウト運動を

日本連盟

専務理事 佐野友保

常務理事 出田行徳

——今年度は新体制のスタートとなります

佐野 運営系と教育系の役割を明確にしました。ボーイスカウトは、あくまでも「組織」ではなく「運動」です。総コミッショナーをはじめ教育関係の方々には、スカウトたちへのプログラムの展開についてバージョンアップをお願いしました。また、スカウトたちをよく育成していくためには、より良い指導者の育成も大切だと考えています。

——今年3月末の登録状況では、ビーバー部門が前年比増に

佐野 ワクワク自然体験あそびの効果が大きいです。しかし、2022年度の加盟登録状況を見ると、やはり新型コロナウイルスの影響か、加盟員の減少は続いています。改めて、この運動の認知度を高めるとともに、活動の質を向上させることが急務であると感じています。

——事業計画に、「ミッション」を定めました

出田 スカウト運動とは、未来を担うことのできる立派な青少年を育てることです。ボーイスカウトで学んだスキルを社会に役立て、この運動の価値を高めることが目標になります。これが、日本のボーイスカウトに関わるすべての人々の「使命」と考えています。



出田 行徳 常務理事
長野・上田第5団所属。2021年11月に日本連盟常務理事に就任。現在、上田第5団 団委員長、東信地区副地区委員長、長野県連盟 副連盟長を兼任。

——最重点施策として、「スカウト運動をより多くの仲間に提供する」と

出田 大事なことは、新しい仲間を呼び込むだけではありません。活動の質を高めることも重要と考えています。たとえば、ここ2年、野外活動ができない状況でしたが、スカウト運動を止めませんでした。目的が達成できれば手段が多少変わってもやむを得ないので、いまの環境に合わせた活動を続けることが大切です。

——成果目標を「83,000人」と提示しました

出田 やっと下げ止まりがきたか、という思いがあります。そんなときだからこそ、明確な数値目標を定めて、1年後に取り組みを評価できるようにします。肝心なことは、「スカウト運動を進展させていく」活動は、各地の団などが主体となって取り組むものであるということです。日本連盟は、そのための支援を行います。全国のみなさんのご協力をお願い申し上げます。

——ボーイスカウトエンタープライズの改革を進めました

佐野 エンタープライズが日本連盟の財政を支えるポジションになりつつあります。この収益事業などによって、これ以上の登録料上昇を回避するだけでなく、登録料の減額に結び付けられないかと考えています。

——お二人に伺います。100周年事業について

佐野 11月に、記念式典やレセプションの開催を計画しています。この100年、日本のボーイスカウト運動は皇室の方々と非常に深い関わりをもって続いてきました。その歴史の重みと、この先の100年への期待を感じられるようにしたいと考えています。

そして、記念募金です。社会的な格差により、ボーイスカウトの活動をしたくても続けられずに悩む青少年が増えています。彼らに手を差し伸べられるよう、社会から篤志を募ります。さらに、100年間の社会教育運動の歴史をまとめるデジタル・ライブラリーを設けることで、未来の青少年教育に資するものになると考え



佐野 友保 専務理事
神奈川・秦野第1団所属。2019年3月に日本連盟専務理事に就任。現在、秦野第1団 団委員長、西湘地区協議会長、神奈川連盟 副連盟長を兼任。

ています。

出田 社会ニーズの高い「防災」について、活動で身につく技術などを用いて社会に還元する「防災キャラバン」を、今年もイオンさんと共同で全国で展開すること。そして、「スカウトの日」を長年支援し続けていただいているセブン-イレブン記念財団さんの協力で大きく展開する「プラごみバスターズ大作戦」。いずれも、より多くの地区や団の方々にご参加いただくことが重要と考えています。

——最後に、2022年をどんな年にしたいか教えてください

佐野 この運動が社会に受け入れられてから、100年が経ちました。指導者は、スカウト一人ひとりがより良き社会人として幸福な人生を歩むために手を差し伸べたい、という思いで活動を展開しています。その思いは変わりません。この運動を信じていただいて、社会を変えていく年にしたいと思います。

出田 100年も続いている社会教育団体はないと思います。この、「100年継続するボーイスカウト」が何をしているのかを社会の皆さんにきちんとご理解いただくことができれば、この運動の未来が出来ていくと思います。101年目以降のことを考えて、さらに盛り上げていきましょう。

インタビュー #02

スカウティングの教育力を再建する

日本連盟

総コミッショナー 村田 禎章

——「スカウティングの教育力を再建する」とは

村田 野外活動やスカウトスキルを積み上げることで「スカウティングをしているつもり」になってはいないだろうか、と。それだけではこの運動の目的にあった人は育ちません。B-Pも、スカウティングの題材は最新のものでなければならないと言っています。人権、平和、環境のことも含めて広く世界を見て、いまの日本の若者に必要なものを提供していく。いま、社会が求めているものにスカウトが取り組めるような仕組みづくりをしていきます。

——少人数のボーイ隊が増えています

村田 人数が少なくてパトロールシステムができないという考えから脱却したい。できないからといって隊長が直接指導するのではなく、人数が少なくても、そのなかでリーダーや班員の役割をきちんと定め、テーマに則って活動することが大事です。大切なのは、活動のかたちではなく、その本質的な価値を見失わないことです。

——コロナ禍でも活動を止めないカギは何かでしょうか

村田 皆さん、スカウトと接触していますか？ボーイ隊ならば、班長が班員とコミュニケーションをとっているか。「コロナが終息したら何をしよう？」と夢を話し合うとか、いま、家でどんなスカウト技能を訓練している？など。さらに、家で作業したことを合わせれば班の成果になる。やり方を探せばできることはあります。

班長の声を久しぶりに聞いて、「会うと厳しいけど電話なら優しいなあ」と感じる。そういう経験が会いたいなという想いにつながり、いざ集まれるときに皆がやる気になって集まることにつながるはずだ。

——総コミッショナー、県コミッショナーと名称が変わりました

村田 スカウティングは運動であり、組織ではありません。日本のスカウト運動推進者としての立場を明確にするため、「総コミッショナー」となりました。そして、各都道府県における代理者が「県コミッショナー」です。連盟に所属する人だけでなく、この運動に参加しようとするすべての人に関わっていくという立場です。さらに、それぞれのブロックを代表する「統括コミッショナー」を設けました。日本連盟の施策を実施するにあたり、それぞれの地域に適したかたちに工夫をこらして進められればと考えています。

——よき指導者の育成も大切です

村田 指導者をリクルートする際に、この活動をどう説明するかが重要だと考えています。「より良き社会」や「良き市民」などと表現しますが、それは具体的にどんなものなのか。「技術や知識を身につけ、人の役に立つことに喜びを感じる。そこに生きがいを感じたり、自分が地域社会の役に立つことを実感できるような人を育てるサポートをしてください」など、培ってきた技術を社会にどう役立てるかが一番大切であるということをきちんと伝え

ることが肝心です。そうしないと本質を見失ってしまいます。私たちの教育は、決してキャンプの達人を作ることが目的ではありません。

——指導者の「やりがい」を広く伝えたいですね

村田 目の前にいるビーバースカウトがローバースカウトになったときに、どんな青年になって欲しいかを考えながら育ててほしいと思います。これは大変なことです。カブボーイと年齢が上がるということは、成長に費やす時間がどんどん減っているということです。だからこそ、大事に育ててあげないといけない。現場のリーダーは大変です。しかし、その分のやりがいは大きいし、スカウトの成長をずっと見守っていただけます。地域の大人たちが何人も集まって、スカウトの成長を見守り続けている。ここに、この運動の価値があると思います。

——どんな青年を育てていきたいですか

村田 スカウトは、ユニフォームを着ていないときにこそ、真価を問われると思います。職場、学校、地域、家庭などで、みんなの役に立つ青年。「彼がいなくて寂しいね」といわれるような、青年。人のことを思う、強く優しい青年。骨太で、でもしなやかな感性をもっている青年。苦勞もしたり、時には友達と仲違いして、痛みを知ることもあってそのように育っていくと思います。だからこそ、しんどいことや苦しいこともあえてやる。やって乗り越えた喜びを知ってもらえるように、指導者は叱咤激励してサポートしていければと思います。



村田 禎章 総コミッショナー
奈良・北葛城第7団所属。2022年4月、日本連盟総コミッショナーに就任。現在、北葛城第7団 団委員長、奈良県連盟 理事を兼任。

(聞き手：理事／広報委員長 澤朋宏)

日本連盟創立100周年 記念事業



4月13日(水)、創立100周年を迎えました。今年度は、100周年を記念してさまざまな事業を展開します。この先の100年に向けて、あらためてこれからの青少年の育成を通じて社会に貢献し続けるという私たちの意思を発信し、社会への関わりを広く深く浸透させていく契機とします。

事業期間

2022(令和4)年4月1日から 2023(令和5)年3月31日まで

■ オープニングセレモニー 4月10日(日)

日本連盟創立100周年イヤーがスタートし、これを記念してボーイスカウト会館にてオープニングセレモニーを開催しました。水野理事長の挨拶からはじまり、来場者を代表して東京連盟の白川理事長より祝辞をいただきました。佐野100周年記念事業実行委員長より事業の紹介を行ったのち、各部門のスカウトが決意の言葉を述べました。村田総コミッショナーによる弥栄で会を締めくくりました。



■ スカウトの歌 お披露目 4月13日(水)

100周年を機に、加盟員および保護者から寄せられた「ことば」をもとに制作した歌が完成し、創立記念日である4月13日(水)にお披露目しました。ボーイスカウトの楽しさや魅力、そしてどんな大人になりたいか、どんな社会にしたいかというスカウトたちの「夢」が込められています。

URL: <https://www.scout.or.jp/member/scoutsong-project/>



■ 今後の事業展開

1. 全国展開事業(防災キャラバン、プラごみバスターズ大作戦) [P18、20参照]
2. 第18回日本スカウトジャンボリー [P7参照]
3. 特別資金事業 (未来の子どもたち基金、デジタルミュージアム設立)
4. 祝賀事業
11月26日(土)、明治神宮会館および明治記念館にて、記念式典とレセプションを開催予定です。
※ 祝賀事業は、新型コロナウイルス感染症の状況により変更になる場合があります。

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念ソング

ボーイスカウト

～いま 高き峰へ～

作詞・作曲：弓削田健介
ことば：100周年スカウトの歌プロジェクト

<p>世界に暗闇が 忍び寄ろうとしても ともし火掲げ合い 平和の騎士が 明日を照らすよ 100年前も100年後も</p>	<p>僕らの冒険は 笑顔をつむぐ旅さ 希望を分かち合い すべての命の 弥栄歌おう 世界中の仲間たちと</p>
<p>立ち上げれ Boy Scout つなげよう Blue Sky 国境は消えてゆく 僕らが共に歌うとき</p>	<p>そなえよつねに Boy Scout ひろげよう True Smile 未来はそう信じてる 僕らの夢かなう朝を</p>
<p>Boy Scout ちがいとおきてを コンパスにして いま 高き峰に向かえ</p>	<p>Boy Scout 誇りと名誉の チーフ巻いて いま 高き峰に向かえ</p>

ラララ・・・
-Creating a Better World-
ラララ・・・
-Creating a Better World-



第18回日本スカウトジャンボリー

第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）は、コロナ禍にあっても活動の歩みを止めることなく、たとえ距離が離れていてもスカウトが一つにつながることを目指して、中央会場と全国のサテライト会場に分かれて開催するジャンボリーです。

これまで一堂に会して実施してきた大会を各地域で開催することにより、改めて自分の住む地域を見つめ直す機会にします。

18NSJでは、さまざまなプログラムを展開します。今号では、17NSJから始まった「ジャンボリー日本プログラム」をご紹介します。



■ 大会テーマ

「100+f ~自分のfを探せ~」 （ひゃくプラスエフじぶんのエフをさがせ）

自ら考える「f (future, friend, family, faith, fun, face, fuji など)」を探して未来に向かっていく、スカウトの自主性と発信していく姿をテーマとします。

■ 大会概要

期 間 2022年の夏休み期間に、5泊6日間のスカウトキャンプを標準として開催

会 場 ① 中央会場（東京都）8月5日（金）～8月10日（水）
② サテライト会場（宮城、茨城、埼玉、神奈川、熊本）
③ ジャンボリーサマー会場（全国各地）

参加規模 10,000人（予定）

■ ジャンボリー日本プログラム

ジャンボリー日本プログラムは、前回17NSJからスタートしたプログラムです。

17NSJでの実施方法を踏襲しながら、異なる環境（会場、参加人数、スタッフ等）であっても公平に競えるルールを設定し、「火起こし」「班旗立て」「手旗信号リレー」3種のスカウトスキルを競って「ジャンボリー日本一」を決めます。

オンライン上に入力された各地の班の成績を集計し、全国での順位を発表します。日々更新される記録は、インターネット等を通じて随時見ることができる予定です。

ジャンボリー日本プログラムを通じて、「スカウティングはゲームである」「班の自治」と「自分の開発」という、本来のスカウティングに取り組んでください。



1 わが旗かざし「班旗立て」

概要 用意された材料で、班旗を作成・自立させ、かつ、より高く（3m以上）立てる。

ねらい ① チームワーク、協力
② 身につけた結索の実践



2 火を絶やすな「火起こし」

概要 用意された材料でかまどを作り、持参した薪等をセットして火をつけ、麻なわを焼き切ります。

ねらい ① さまざまな条件下で確実に火をおこし、また火をコントロールする
② チームワーク



3 ジョン・ブラン「手旗信号リレー」

概要 手旗信号を受信して、次に送信リレーする手旗信号による伝言ゲーム

ねらい 手旗スキルの実践

※今後、開催内容が変更になる場合があります。最新の情報は日本連盟 Web サイトをご覧ください。

富士特別野営 2021

2022年3月。新型コロナウイルスの影響による約半年の延期を経て、初めての春季開催になった富士特別野営。

直前に降った雪がわずかに残る高萩スカウトフィールド（以下、高萩SF）に集った全国31人のスカウトが、自然の中で寒さと孤独に耐えながら、一人ひとりが自身と向き合った5泊6日の模様をお伝えします。



参加者/スカウト15県連盟 31人、隊指導者および上級班長等：佐久間隊長（神奈川）他9人、スタッフ 14人



- | | |
|-----|---|
| 1日目 | 集合、基本動作、オリエンテーション、設営、開会式 |
| 2日目 | パイオニアリング、スカウトスケッチ、ブッシュクラフトプラクティス、ナイトプログラム |
| 3日目 | ソロキャンプ準備、出発 |
| 4日目 | ソロキャンプ（2日目） |
| 5日目 | ソロキャンプ帰営、通信ゲーム、アーチェリー、大營火、閉会式 |
| 6日目 | 撤収、奉仕活動、解散 |

はじまり

3月26日。小雨が降る中、北は北海道から南は山口まで31人のスカウトが高萩 SF に集結。その表情は、待ちに待った久しぶりの野営大会ということもあり、プログラムへの期待に満ち溢れていた。

今大会は、スカウト運動の基本である野外活動を通じてその重要性を確認し、班制教育により「教わること」「学ぶこと」を再確認する。そして、プログラムとしての試練を乗り越える体験をととして、信頼と絆の大切さを知り、友情を育み、スカウトスピリッツ（徳性、忍耐力、気力、清貧）を実践することを目的としている。

高萩 SF に到着したスカウトたちは、これから始まる訓練が、隊の仲間と行ってきた楽しい野営生活とは一線を画したものであること、自分自身がそこに挑戦しに来た意味を再確認し、気を引き締めた。

闇夜のなか、かがり火に照らされるスカウトたちは、少し緊張した面持ち。代表スカウト2人による宣誓で、コロナ禍の富士特別野営が開会した。



個のスキルと仲間との協力

高度な野営活動が目的の今大会。飛行機故障により、山中にて班員がバラバラに露營するというストーリーのもと、チームビルドと個々のスキルを確認するプログラムを展開。

2日目はパイオニアリングから。現場監督役のスカウトの指示のもと、三脚信号塔の作成に取り組む。はじめは遠慮がちだったスカウトも、徐々に自分の役割を探して互いに声を掛け合いながら危険な作業にも挑戦し、無事2基の信号塔を立ち上げることに成功した。

その後は翌日から始まるソロキャンプに向けた準備。今回は、予期せぬ露營というストーリー展開のため、テントもなければマッチやライターもない。氷点下にもなる寒さの中でテントを使わず防水シートでいかに快適な生活環境を整えられるか……

ファイアスターターや火打ち石、チャークロスなどを使用して自分で熱源を確保するスキルを確認し、翌日からの生活に備えた。



ソロキャンプ

3日目。この日から、人の手がほとんど入っていない山中で、孤独と寒さに耐える2泊3日の野営生活。

今回の富士特別野営では、コロナ禍の開催という状況を逆手にとり、ソロキャンプというこれまでにない形で、スカウトが自分自身と対峙する時間をもつ。

スカウトは、与えられた防水シートと自然物とで思い思いの寝床を作り、2日間の生活

環境を整えた。

静かな自然の中、一人で過ごす時間は孤独だ。自ら用意してきた課題に取り組む者、自分の周りに唯一ある自然と調和して自分自身を見つめ直す者、これからのことに想いを馳せる者など、それぞれのスカウトが孤独な時間を自分自身のために使った。

満天の星の下で、スカウトたちは何を感じ、何を思ったか……



5日目の朝6:00。まだ陽が昇り始めたばかりの薄暗い中で活動開始。

散らばって野営していたスカウトたちは、隊指導者の先導のもと、一人、また一人と隊列に加わり、帰營の歩みを進める。

宿営地への道中、急勾配な崖がスカウトの目の前に現れると、一人ひとりが作ったコマンドロープを繋ぎ合わせることで1本のロープにし、それを頼りに崖を突破。数日前に初めて会ったばかりであっても、スカウトたちは短期間で互いを知り、それぞれの技能とチームワークを発揮した。

宿営地に帰着すると、閉会に向けて感謝の心をもって備品を整備。



営火、そして閉会へ

最終日の夜。初日の夜と同じように暗闇の中で営火に照らされるスカウトたち。

自分と向き合う孤独な夜を過ごしてきたスカウトは、ボンファイアで仲間との交流を図り、各々が今大会を通じて得たものを踏まえて「Creating a Better World」に向けた目標を語り合った。

続く閉会式。福嶋日本連盟コミッショナー（開催当時）から、参加したすべてのスカウトに完修章が手渡されると、スカウトの目には自信と希望に満ち溢れ、力強く輝いていた。最後に、富士特別野営への挑戦をやり遂げたスカウト31人に向け、スタッフたちから今後の活躍を祈念して弥栄が贈られた。

最終日、スカウトたちは名残惜しそうに撤収し、スタッフたちに見送られて今回の挑戦の地・高萩スカウトフィールドを後にした。



富士特別野営を通じて

2021年8月に開催を予定していた富士特別野営2021が、半年の延期を経て3月31日に無事終了しました。

2007年、世界スカウト運動100周年の年にイギリスで第21回世界スカウトジャンボリーが開催され、日本連盟もこの年に6泊7日の野営「富士チャレンジキャンプ」を、いまは無き山中野営場で行いました。

プログラムの試練を乗り越える体験の中から、信頼や絆、友情を育み、スカウトスピリット（徳性、忍耐力、気力、清貧）の実践を目的とした大会。数年が経過し、このプログラムは現在のベンチャースカウトに、日本連盟として提供するプログラムであることが周知されるようになりました。

私自身、富士特別野営に6回も携わることができ、大変良かったと思っています。この間に富士特別野営を経験したスカウトたちは、社会で、またスカウト活動において、大きく羽ばたいていると信じています。そして、チームを組んだ熱心な成人指導者たちの献身的な奉仕には頭が下がり、感謝の気持ちで一杯です。

「スマートで、目先が利いて、几帳面、負けじ魂これぞスカウト」という言葉があります。参加したスカウト、奉仕をお願いした指導者に、これからの日本のスカウト活動を牽引してほしいと願うばかりです。



日本連盟コミッショナー（開催当時）
福嶋 正己

第49回

全国ボーイスカウト写真コンテスト 入賞作品発表!

昨年に続き、コロナ禍により隊活動の制限を余儀なくされた一方で、活動できる喜びを知り、仲間と過ごすことの大切さに気づくことも多かったのではないのでしょうか。今回も全国各地から多くの応募がありました。

入賞作品を、田沼審査委員長のコメントとともにご紹介します。

少年少女の部(中学校以下)

【応募総数 180点】



『まじめにしっかり
いつも元気』

萩原 芽依
静岡・浜松第12団 カブスカウト

📷 みんながまじめにしっかり元気に、スタンツの準備をできました。

🗣️ みんなが集まって生物の研究をしているように見えるが、植物の絵と子どもたちのバランスが程よく、いかにも研究をしている印象を写し取っている。



『学校がちがっても一番の友達』

前田 健太 群馬・館林第1団 カブスカウト

📷 久しぶりに活動できた日、弟はとても楽しそうに、仲間とすもうをしていました。

🗣️ 力強さを感じる写真。体全体でぶつかり合っただけという印象が感じられて、現代の子はこうあってほしいという作品。右の子の表情が自分の腕で隠れてしまったのは唯一残念なところ。



『やっと集まれたね!』

和田 耕史郎 神奈川・藤沢第16団 カブスカウト



📷 コロナが収束してやっと集まれた嬉しさを、祖父からもらった一眼レフで写真に収めました。

🗣️ とてもユニークな撮影。カメラに向かって敬礼をし、セルフタイマーで撮っている光景を横から撮ったという、きわめて微笑ましい印象の作品です。仲よしカブスカウトの光景が写しこまれている。



『もちつき
ワッショイ!』

澤田 歩陸
愛知・北名古屋第1団
カブスカウト



『新居浜2団
ちびっこひろば』

岡部 圭一郎
愛媛・新居浜第2団
カブスカウト

総評/少年少女の部は、どちらかと言うと、被写体を発見して、素敵と思っただけでシャッターを切る傾向がみられます。青年成人の部は、何をみせようかと考えながら撮影しているものが多かったです。おもしろいと思って被写体を選んだときに、何をみせるかということを考えて撮影すると、撮っている人の気持ちが写真に表現できるようになります。

外で撮影するチャンスが減っていますが、できるだけフィールドに出て、楽しい活動の風景が捉えられるようになると、その時の記念にもなり、後々までの記録になっていきます。写真は、色々なことを語ってくれるので、たくさん撮ってください。



『モチうつ仲間』

保科 匠音
愛知・北名古屋第1団
カブスカウト



『おとさないでね!』

谷口 裕美
大阪・吹田第19団
カブスカウト



『やったあ、
とったぞー!』

村松 厚輔
宮崎・延岡第4団
カブスカウト



『ジャンプ!』

井筒 帆奈美
神奈川・川崎第43団
カブスカウト



『3組の友だちが
しゃんざつえい中』

頼實 袖季
岡山・都窪第2団
カブスカウト

📷 撮影者のコメント

🗣️ 審査委員長のコメント

- ※ 撮影者の所属等は応募時のものです。
- ※ タイトル、撮影者コメントは応募時の表記をもとに掲載しています。
- ※ プライバシー保護のため、一部加工しています。



審査委員長
田沼 武能氏
(1929 -)

ためたまけし/東京写真工専卒業後、木村伊兵衛氏のもとで修業、その後フリーに。高度成長期以前の東京下町の暮らしなどを撮影する。活躍の舞台を世界にひろげ、各国の子どもたちの写真を撮り続けている。日本写真家協会名誉会長、日本写真著作権協会会長を務める。数々の賞を受賞し、紫綬褒章、文化勲章(写真家初)を受章した。少年時代、現在の台東第1団(東京第2隊)の前身である大谷健児団でボーイスカウト活動に参加。

青年成人の部(高校生以上)

【応募総数 133点】



『最高——！』

永山 孝介 熊本・熊本第1団 カブ隊副長

📷 令和2年7月豪雨で被災し運休中の“くま川鉄道”を自転車で行きました。みんなとっても楽しく最高の気分になりました。

🗣️ 豪雨被害で運休した球磨川鉄道を利用して、みんなで走らせていることがとても嬉しそう。普段はなかなかできない光景で、「やったあ」という歓声を感じられる作品です。



『蓮の中のホームグラウンド』

伊藤 芳男

愛知・津島第3団 カブ隊インストラクター

📷 地元・愛西市の特産“れんこん”畑に囲まれた我が団スカウト広場。緑々とした蓮の葉のように、みずみずしい気持ちで体験を行いました。

🗣️ 蓮田に囲まれた広場で体験会を開催している光景をスナップし、屋外の清々さが感じられる素敵な写真になっています。青空と緑に包まれた田園風景が、スカウトたちの活動の様子を演出しています。



『何個むすべるか競争だ！』

齋藤 陽

埼玉・蓮田第1団 カブ隊副長

📷 体験入隊のお友達を交えて「ロープ結び対決!」。大人が何も指示していないのに、背中合わせにすることでウイルス感染リスクも減らしていたのには驚かされました。そしてそのスタイルも「チーム選」という感じでカッコいい!

🗣️ 体験入隊の子どもを交え、ロープを結び競争を真剣に行っている様子が、子どもたちの顔は見えなくとも、手や体から伝わってきます。子どもたちを中央に集めて俯瞰して撮ったのも良かったです。右端の足を画面に入れなければ、より子どもたちの情景が集約されて良い作品になったと思います。



『おーい! わかったか?』

弓手 良行

埼玉・飯能第3団
ボーイ隊長



『見よ! この集中力を』

中村 仁美

宮崎・宮崎第17団
ビーバー隊副長



『新聞紙で何か出来るのかな!!』

苦瓜 一夫

兵庫・姫路第6団
団委員長



『語らい』

姫嶋 真基子

山梨・甲府第6団
ビーバー隊保護者



『清爽の気』

富澤 昇太

兵庫・西宮第21団
ローバースカウト



『空の青と、カブの青』

丹生 克生

和歌山・橋本第2団
カブ隊長



『進め。前へ。』

嶺 大輔

茨城・取手第3団
カブ隊副長

オンラインの部

新設

【応募総数 185点】

初の試みとして、インスタグラムでもフォトコンテストを行いました。

期間中に投稿いただいた中から、社会連携・広報委員会(当時)で10作品を選び、その10作品についてインスタグラムで人気投票を実施。いいね!が多かった上位5作品が入賞しました。



いいね! 724

『シャッターチャンス』

竹内 貴子 東京・北第8団 ボーイ隊副長



いいね! 571

『カラフル』

大澤 礼奈

加藤 笑奈

埼玉・東松山第1団



いいね! 399

『いつかのキャンプファイア』

衣川 正徳 兵庫・神戸第6団 ボーイ隊副長



いいね! 344

『狙撃王に僕はなる!!』

劉 犀

埼玉・川口第19団
ビーバー隊副長



いいね! 329

『神鍋高原は僕らのフィールド』

谷口 景子

兵庫・日高第1団 カブ隊デンリーダー



2021年度(第40回)

富士スカウト代表表敬

2021年度 第40回富士スカウト代表表敬を3月31日(木)に実施しました。2021(令和3)年は23県連盟132人*が富士スカウト章を受章し、各県連盟から選出された代表スカウトが関係各所への表敬訪問の機会をいただきました。

*対象者は2021年1月1日から12月31日までに富士スカウト章を受章したスカウト。

1. 秋篠宮皇嗣殿下 代表スカウトとご接見(オンライン)



写真提供: 秋篠宮家



写真提供: 秋篠宮家

昨年に続き、オンラインで秋篠宮皇嗣殿下とのご懇談の貴重な機会をいただきました。

参加スカウトは、事前研修によってオンライン特有の振る舞いについて共通認識をもち、当日はスカウト一人ひとりが自身の挑戦した社会貢献や高度な野

外活動プロジェクトについてご報告し、殿下のご質問にお答えしました。

秋篠宮皇嗣殿下には、すべてのスカウトと親しくご懇談いただいたのち、これまでのスカウトの取り組みと今後の活躍に対してお言葉を賜りました。

日時

3月31日(木)
10:00 ~ 11:40

方法

オンライン

参加者

23県連盟47人の代表スカウト

司会進行

北村梨沙ローバースカウト
(島根・松江第1団 / 2020年度富士スカウト)

決意の言葉

ロゼンブルーム ジェイ
(東京・中央第10団)

2. 内閣官房長官、文部科学大臣への表敬訪問



日時

3月31日(木)
15:15 ~ 15:30 [首相官邸]
16:30 ~ 16:50 [文部科学省]

場所

首相官邸、文部科学省

参加者

18県連盟46人の代表スカウト
*体調不良のため1人欠席

首相官邸では、松野内閣官房長官より、岸田内閣総理大臣のメッセージを伝達いただきました。

[メッセージ要約]

コロナ禍で思うように活動ができないなか、皆さんが自らに課題を課し、文化伝承や環境保護など幅広く活動していると伺いました。また、東京2020オリンピック・パラリンピックでは、スカウトの皆さんによる各国の国旗掲揚動画によって多くの選手が勇気づけられました。温かい奉仕の心に感謝いたします。富士スカウト章を受章した先輩たちに倣い、スカウトの鏡として、引き続き努力を続けてください。

文部科学省では、末松文部科学大臣から激励の言葉をいただきました。

[励ましの言葉 要約]

皆さんが自然体験活動や社会奉仕活動など多くの活動で培った、自分で課題を見つけ解決する力や皆で協力して困難を乗り越える力は、変化が激しい社会を生き抜くうえで必ず役に立つと思います。栄えある富士スカウト章受章を誇りに、夢や希望に向かって大いにチャレンジしてください。そして社会を担うリーダーとして活躍されることを願っています。皆さんは、スカウト活動が楽しく、好きで続けてきたと思います。これからもその精神を継続してください。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 首相官邸 | 決意の言葉 / 福田 健太郎 (大阪・豊中第21団) 弥栄 / 小川 拓人 (東京・練馬第8団)
司会進行 / 松永 知也 (福岡・北九州第1団)、谷川 詩恩 (兵庫・猪名川第1団) |
| (2) 文部科学省 | 決意の言葉 / 神山 恵太 (東京・小平第1団) 弥栄 / 糸川 愛留 (東京・練馬第6団)
司会進行 / 大阿久 翔一 (埼玉・さいたま第8団)、二宮 瑠星 (神奈川・横浜第107団) |



2022 (令和4) 年度

全国大会

テーマ

Creating a Better World

(より良い世界を創ろう)

～活動的で自立した青少年を育てよう!!～



■ 日程

5月28日(土)

12:00 ~ 14:45

開会式、表彰式他

15:15 ~ 17:15

諸会議(県連盟代表者会議、全国県連盟コミッショナー会議、RCJ 総会)

5月29日(日)

9:00 ~ 11:30

全国スカウト教育会議
(= テーマ集会)

- 1 プログラム
- 2 Adults in Scouting (指導者養成)
- 3 組織拡充と広報
- 4 セーフ・フロム・ハーム
- 5 ユース
- 6 国際

5月28日(土)~29日(日)

スカウティングエキスポ(展示、体験コーナー他)

※団体、個人の出展を公募します。

■ 場所/兵庫・姫路市

アクリエひめじ 〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2

■ 参加者/どなたでも参加できます

1. ボーイスカウト指導者・役職員(隊長、団委員長、地区コミッショナーの参加を期待します)
2. ローバースカウト、スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
3. 行政関係者、他団体関係者
4. 一般市民、県内の青少年、その他

■ 大会参加費/ 3,000円(資料および記念品代含む)

- ※ スカウティングエキスポは、一般向けに無料開放します。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の現況に鑑み、「交歓会」は開催しません。



書写山 円教寺



姫路城

新型コロナウイルスの状況により、計画が変更になる場合があります。最新情報は日本連盟 Web サイト等で随時お知らせいたします。

スカウトの夢



2021年10月に募集を開始し、全国のスカウトからたくさんの夢が集まりました。その数、なんと644人分。

お送りいただいた皆さん、ありがとうございました。今後も、機関誌や日本連盟 Web サイトでご紹介していきますので楽しみに。

■ 野外活動のための安心・安全講座

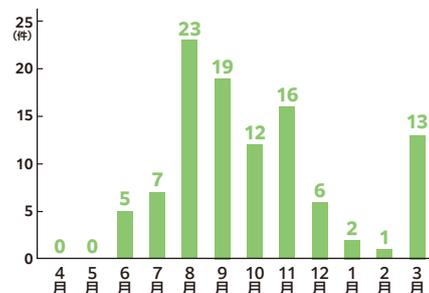
2020年度（令和2年度）

そなえよつねに共済 事故データ分析

「そなえよつねに共済」で取り扱った事故データ分析の結果がまとまりましたので報告いたします。2012年度から全加盟員が保険（2014年度からは共済）対象となり、ボーイスカウト全体における事故の傾向が把握できるようになりました。事故発生件数（報告件数）は104件で、傷病の延べ数は153件でした。いくつか気づいた点をコメントしましたので、安全管理の参考にいただければ幸いです。

発生月別

■ 月別事故発生件数 (n=104)



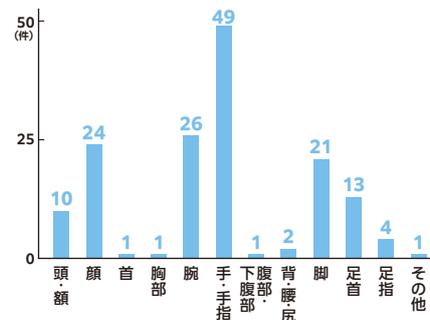
新型コロナウイルス感染症の影響により、事故発生数の低下が顕著になっています。特に4月と5月の件数は0件ですが、これは緊急事態宣言が発出され活動自体が減っていた時期と重なります。

8月に事故件数が多い傾向は、例年と同様です。全事故件数の22.1%を占めますが、昨年度(2019年度:96件)より73件減少しています。活動中に誤って転倒する、薪割り中の切り傷や火起こし中のやけどのほか、ハチやブユ、ダニによる虫刺されによる被害も報告されています。

1月、2月の件数が少ないことも緊急事態宣言の発令と相関が見られます。3月になると緊急事態宣言が解除されて活動が再開されたことに伴い、事故件数も増加しています。

部位別（延べ数）

■ 部位別事故発生件数 (n=153)



受傷部位の傾向としては、頭部や顔、腕から先、脚下がほとんどを占めています。例年に比べ活動自体が減っていたため受傷数は減少していますが、部位別の割合に大きな違いは認められません。事故による受傷部位の傾向は毎年同様であり、なお一層の注意をしていかなければなりません。

顔の受傷が24件ありますが、このうち顔面（鼻、耳、ほお、あご等）は16件、うち11件は自転車での転倒によるものです。自転車での転倒は一歩間違えると周囲を巻き込んだ大きな事故になる可能性があります。安全対策のみならず、自転車の乗り方に関する知識も十分に身につける必要があります。

年代別

19歳までの割合が70%にあたる73人でした。20代と30代は少数ですが、40代は12人、50代では11人に事故が発生しています。さらに、60代は3人、70代も1人の事故報告がありました。

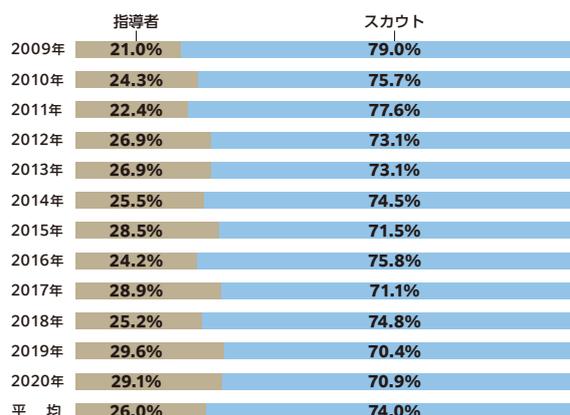
■ 年代別事故発生割合 (n=104)



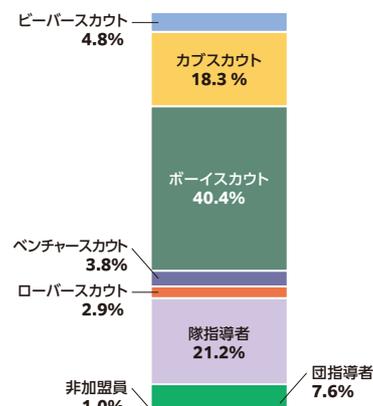
部門別

部門別の傾向はビーバースカウトが1.1%減少、カブスカウトが6.2%減少、ボーイスカウトが10.6%増加、ベンチャースカウトが1.3%減少、ローバースカウトが0.8%増加でした。全事故に占めるスカウト全体では70.9%とでした。一方、指導者の割合（非加盟員を除く）は29.1%と昨年とほぼ同様です。

■ 指導者／スカウトの事故発生割合の変化



■ 部門別事故発生割合 (n=104)



部門別 上位3傷病

	1位	2位	3位
ビーバースカウト	骨折 (3件)	擦り傷/打撲 (各1件)	—
カブスカウト	骨折 (6件)	切り傷/打撲 (各4件)	切り傷 (2件)
ボーイスカウト	切り傷 (14件)	骨折 (11件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷 (5件)
ベンチャースカウト	切り傷/擦り傷 (各2件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷/打撲/骨折/歯牙欠損 (各1件)	—
ローバースカウト	擦り傷 (3件)	やけど/打撲 (各1件)	—
指導者	骨折 (12件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷/擦り傷 (各7件)	打撲 (6件)

活動内容

ビーバースカウト部門での事故1位は「ゲーム」で2件、2位は「ハイキング・ナイトハイク」「移動中」「休憩中・自由時間等」で各1件でした。プログラム中が大多数を占めますが、活動前後や休憩時間も十分な安全対策を講じる必要があります。

カブスカウト部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」で5件、2位は「サイクリング」「工作」「移動中」でそれぞれ2件でした。

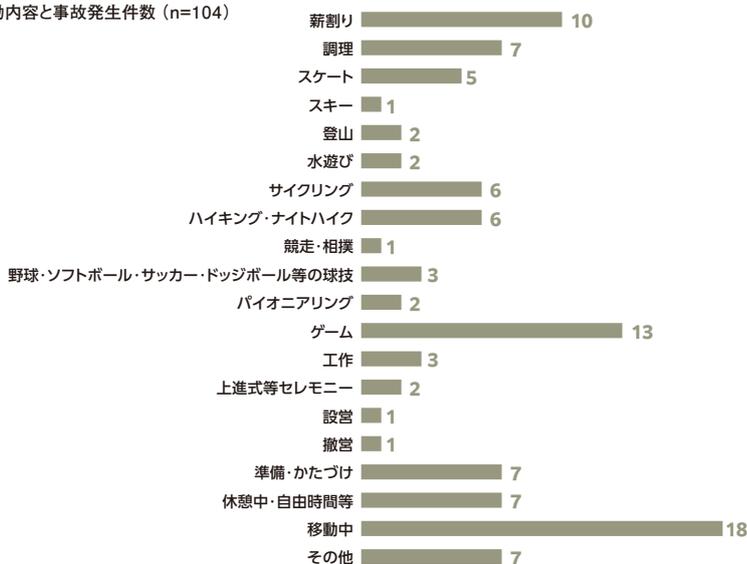
ボーイスカウト部門での事故1位は「移動中」で9

件、2位は「薪割り」で8件でした。移動中は自転車での事故が多く、安全保護具の着用や正しい交通ルールを守ることが重要です。

ベンチャースカウト部門は、「サイクリング」「ハイキング・ナイトハイク」「移動中」で各1件。ローバースカウト部門は、「調理」「登山」「サイクリング」で各1件でした。

指導者の事故1位は「ゲーム」「移動中」でそれぞれ4件、2位は「準備・片づけ」で3件でした。

■ 活動内容と事故発生件数 (n=104)



■ 部門別 最も事故が多かった活動内容

部門	プログラム
ビーバースカウト	ゲーム (2件)
カブスカウト	休憩中・自由時間等 (5件)
ボーイスカウト	移動中 (9件)
ベンチャースカウト	サイクリング/ハイキング・ナイトハイク/移動中 (各1件)
ローバースカウト	調理/登山/サイクリング (各1件)
指導者	ゲーム/移動中 (4件)

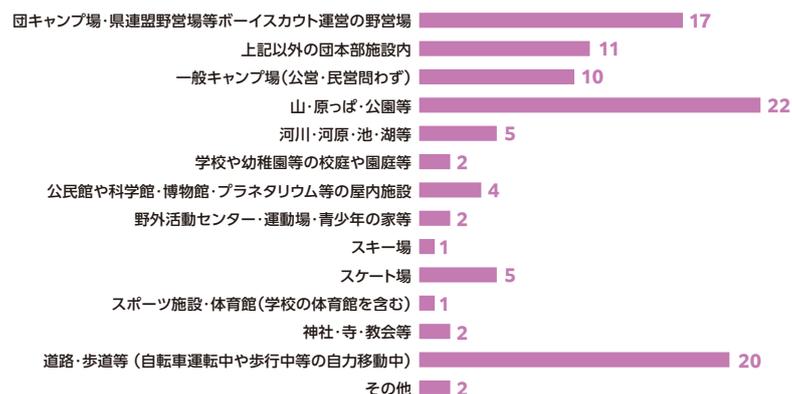
発生場所

事故の発生場所として最も多かったのは「山・原っぱ・公園等」でした。ついで「道路・歩道等(自転車運転中や歩行中等の自力移動中)」です。新型コロナウイルス感染症によりキャンプ等の活動が自粛された

ことも影響しています。

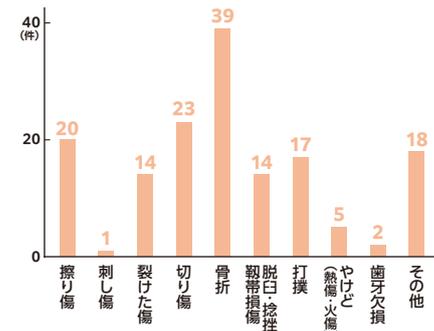
移動中は大きな事故につながる可能性が高いため、今一度安全に対する意識をもつことが重要です。

■ 発生場所と発生件数 (n=104)



傷病別(のべ数)

■ 傷病別事故発生件数と事故割合 (n=153)



傷病別では「骨折」の割合が最も多く、前年度より61件減少の39件で第1位でした。第2位は「切り傷」で前年度49件から26件減少の23件でした。第3位の「擦り傷」は昨年度から2件増加の20件でした。これら3傷病で全傷病の53.6%を占めています。

またその中で気になったのがハチやブユ、ダニによる虫刺されです。毎年虫刺されの報告は多いため、服装や害虫対策などは今一度十分に配慮してください。

まとめ

共済事業に移行して7年目、新型コロナウイルス感染症が流行してから初めての本格的な事故分析になりました。やはり活動が縮小したことから、事故発生件数が大幅に減少しています。裏を返せば、コロナ禍で活動自粛になる前までは、より活発な活動を展開していただいていたということにもなります。

活動を再開していくうえで、気をつけていただきたい内容についてまとめます。

第一に、休憩中の事故発生の防止です。ビーバースカウトやカブスカウトにとって、休憩は自由時間です。大人たちにとっては体を休める時間も、子どもたちにとっては格好の遊ぶ時間になります。安全管理を十分に行い、事故防止に努めてください。

第二に、久しぶりの野外活動によるけがです。新型コロナウイルス感染症により、キャンプなどの活動を自粛されていた方も多いかと思います。こうした状況からキャンプなどを再開すると、思わぬけがや事故、病気になる可能性があります。特にナイフやナタによる手元のけが、熱中症などの危険性について、改めて考え、スカウトに伝えていただきたいと思っています。

最後に、指導者の事故についてです。今回の事故分析において、指導者の事故割合は変わりありませんでした。つまり、活動が活発化すると事故件数が増えるということです。ぜひ自身の状態を把握いただき、無理をせずスカウトたちの活動を支援いただければと思います。

2022年度は日本連盟創立100周年記念の企画を展開

全国防災キャラバン



地域の子どもとその家族を対象に、2016年から継続開催している「全国防災キャラバン」。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、全国20会場ほどの開催になりましたが、会場ごとにプログラム内容や実施方法を工夫していただき、地域の防災に対する認知向上に貢献しました。

今年もコロナ禍が続くことを想定しながら、「いつ起こるか分からない災害」への備えの大切さを体験してもらう本活動を、全国のイオンモール等で開催します。



2021年度の開催報告

開催会場 / 19県連盟 25会場 (うち3会場はパネル展示形式)

主催 / 共催 / ボーイスカウト日本連盟・ボーイスカウト都道府県連盟、イオン株式会社・イオンモール株式会社

後援 / 文部科学省

※会場ごとに地元行政などから後援等を得ている場合があります。

多くの会場が延期や中止になりましたが、実施できた会場の様子を一部ご紹介いたします。

群馬・イオンモール太田

地元行政から着ぐるみを借りたり消防署からアルファ米の提供を受けたりと、地域で連携した取り組みを実施。

愛知・イオンモール新瑞橋

全国共通プログラムに加え、地区独自のプログラムを追加してラビ形式で展開するなど、「楽しみながら学ぶ」という本キャラバンのコンセプトを意識しながら工夫を凝らして展開。

島根・イオンモール出雲

行政・消防・警察・自衛隊の合同防災関連イベントとして行い、コロナ禍における足並みを諸団体と揃えるために展示物を中心に展開。募集チラシやカブブックなどを展示し、会員拡充の機会につなげる。当日は地元メディアからの取材も。

Topic

内閣府等が主催する「防災推進国民大会」(ぼうさいこくたい)が2021年11月に岩手・釜石市で開催され、岩手連盟の協力によりボーイスカウトとして防災プログラムを実施しました。

2022年度の活動ポイント

[1] 思いやり防災

2021年度から導入している「思いやり防災」のプログラムを2022年度も継続します。高齢者や障がいのある方など多様な人がいることを知り、災害が起きたときお互いが助け合うことを考えるきっかけにします。



[2] コロナ禍でも「Never Stops!」

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの会場が開催中止になりました。しかし、そのような中でもパネル展示を行うなど、地域の方に少しでもボーイスカウトが行う活動の取り組みや防災の大切さを伝える活動を展開する会場もありました。

2022年度は、パネル展示形式での開催に活用できる共通資料を準備します。



[3] 日本連盟創立100周年記念企画

日本連盟創立100周年にあたる2022年は、これからの100年に向けたスタートの年でもあります。防災キャラバンの機会に、地域の方々と一緒に次代の街づくりを行うことができる企画を準備していきます。



「あなたの夢を描こう」"Draw your Dream!"

第25回 世界スカウトジャンボリー (25WSJ)

4年ごとに開催される世界スカウトジャンボリー。25WSJは、2023年に韓国・全羅北道セマングムで開催されます。

派遣員は、世界スカウト機構(WOSM)に正式加盟する172の国と地域を代表するスカウトと野営生活を共にしながら親善交歓を図り、さまざまなプログラムへの参加を通じて世界友情を育みます。各国の参加者との交流によって、国際理解を深めるとともに、自国に対する関心と理解の高揚につなげます。

- 募集人員 ① 参加者/計1,570人 スカウト1,260人、参加隊指導者140人(35隊:1,400人)、派遣団本部員(CMT)30人以内
② 国際サービスチーム員(IST)/最大140人
- 派遣期間 2023年8月1日(火)～8月12日(土) 12日間(参加隊標準日程)
2023年7月29日(土)～8月14日(月) 16日間(IST)
※ 航空便等により出発日と帰国日が前後することがある。
- 派遣先 韓国・全羅北道 セマングム
- 応募資格 ① 参加スカウト(ボーイスカウト及びベンチャースカウト)
※ 2005年7月22日から2009年7月31日までに生まれた者
② 参加指導者/2023年4月1日時点で、満20歳以上の成人指導者
③ 国際サービスチーム員(IST)/2005年7月21日以前に生まれた指導者またはローパーおよびベンチャースカウト
- 参加費 日本派遣団共通経費 一人15万円 ※ 別途、出発地別経費がかかります。
- 参加申込・派遣員内定
① 県連盟から日本連盟への申込期日 2022年6月30日(木)
② 選考結果の通知 スカウト/2022年7月、隊指導者/2022年8月

25WSJのシンボルマーク公募について

25WSJ派遣実行委員会では、日本派遣団のシンボルマークを公募しています。

応募の条件・資格

1. 未発表のもので応募者の創作したもの
2. 日本らしさを要素に含める
3. 縦×横の長さが8×9cmに収まり、このサイズで見やすいもの
4. 色の使用は6色以内
5. 応募の作品は、1点ごとに住所、氏名、年齢、職業(ボーイスカウト関係者は所属と役務)を明記
6. 個人・グループは問わず、ボーイスカウト加盟員でなくても応募可能
7. 大会ロゴなども参考にしたもの

条件等、詳細は必ずwebサイトをご覧ください。

応募方法

郵送またはメールにて以下の宛先にお送りください。

【住所】〒167-0022

東京都杉並区下井草4-4-3

(公財)ボーイスカウト日本連盟事務局

25WSJ担当

【E-mail】intl@scout.or.jp

締切

2022年7月31日(日) 必着

審査

25WSJ派遣実行委員会が行います。

発表

審査後、本人宛に通知するとともにホームページ等にて発表します。

信仰奨励

日日の善行

日本カトリック教会 飯盛 安信

日本だけでなく、世界中で新型コロナウイルス感染症の感染拡大に歯止めがかからない状況が続いています。

感染症という目に見えないものへの不安から自分の身を守ろうと利己的になり、優しさや寛容さなどの人を思いやる気持ちが薄らぎかねないように思えて、とても心配です。

このようなときこそ、家族や友人、そして団や学校、町など、自分の身の回りの人々へ思いやりの気持ちを持ち、親切に接することができるよう、スカウトに促すことができればよいと思います。

聖書に、『神は「人が独りでいるのは良くない。彼を助けるものを造ろう」と言って、もう一人を造られた』というお話があります。

人は互いに助け合って、支え合って生きるように造られたのです。それ故、人は互いに助け合うために生きているのだと思います。

助けられると嬉しいのはもちろん、誰かを助けたときに嬉しくなる気持ちを、誰しもが持ち合わせているのではないのでしょうか。

B-Pは、「いつも他の人々を助けます」をスカウトの「ちかい」の2番目に掲げています。活動においても日々の生活においても、スカウトにはいつも人に親切にする気持ちをもってもらいたいと思います。

先日、東京連盟の先輩指導者から、信仰奨励に役に立つのではないかと、ボーイスカウト オブ アメリカの善行コインをご紹介いただきました。それは500円玉を一回りくらい大きくした金色のコインで、「毎日、人に親切なことをしたら、そっと右のポケットに移しなさい」と記されています。

ズボンのポケットに携帯しやすく、いつもなにかの折に善行を思い出す、とても良いアイデアだと思いました。特に「そっと」というところが気に入っています。

スカウトに日日の善行を勤めるときに、このようなグッズを用意できるととても良いと思います。



詳細は、日本連盟 Web サイトをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/25wsj/>

創立100周年を機にテーマを一新!

スカウトの日 ~プラごみバスターズ大作戦~

「スカウトの日」は、スカウト運動が地域社会に根差した実践活動であることを広く社会に周知することを目的に、環境保全や環境美化をはじめ、さまざまな活動を全国各地で実施しています。

ごみゼロ運動から始まり、「カントリー大作戦」「地球大好き!! love the Earth.」へとテーマや内容を変えながら40年以上継続してきました。

2022年は日本連盟創立100周年の年です。この記念の年を機に、世界的な環境課題の一つである海洋問題に取り組む新たな「スカウトの日」のテーマを設定し、全国一斉のプログラム展開を進めていきます。

2022年度 スカウトの日

~プラごみバスターズ大作戦~

実施日: 9月19日(月・祝)を基本として全国で実施

主催: 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

後援: (予定) 文部科学省、厚生労働省、環境省

協賛: 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

■ 年間スケジュール

情報発表: 5月28日(土)【令和4年度全国大会】

同時期に本プログラム特設サイトの公開を予定しています。

活動期間: 7月11日(月)~11月7日(月)

9月19日(月・祝)を基本とし、上記期間に実施

成果報告: 12月7日(水)~9日(金)

[環境展示会・エコプロ出展予定]

■ 主なプログラム内容

なぜプラスチックがごみになってしまうのかを学ぼう

近頃は、「海洋プラスチック問題」が取りざたされ、リサイクル回収やビニール袋等の有料化によるプラスチック製品の使用機会削減などプラスチック製品に対する関心が高まりつつありますが、ごみとして回収されない(あるいは正しくリサイクルされない)プラスチックはまだ多く、資源循環のサイ

クルから取り残された状態にあります。

スカウト活動や普段の生活の中で気づきを得て学びにつなげられるよう、SDGsを交えた教育コンテンツを提供していきます。環境教育プログラム「Earth Tribe」と連携させることで、進歩進級につながるヒントを提供していく予定です。



地域の美化活動を通じてプラスチックごみを回収しよう

近年、「スカウトの日」はSDGsと関連づけて活動してきました。各団等から報告される取り組みの多くは環境美化活動で、身近な社会課題に目を向けて活動が行われています。

これまで「地球大好き!! love the Earth.」として広く環境問題に取り組んできましたが、今年度から新たに「プラごみバスターズ大

作戦」と題し、プラスチックごみにテーマを絞った活動を推奨していきます。

7月から11月までを活動期間とし、スカウトたちがプラスチックごみの回収に取り組めるよう、活動資材を準備しています。また、回収したプラスチックごみを再利用し、スカウトの手元に残る形で届ける計画も進めています。



全国の放置ごみに関する情報をアプリで共有しよう

これまで40年以上実施している環境美化活動。地域や他団体とも協力しながら無理なく持続できるよう、ICTツールを活用、集めた放置ごみのデータ集約と取り組みの見える化を図ります。

スカウト自身が取り組んだことを、団や県連盟単位でデータを確認できるよう、スマートフォンアプリを活用する準備を進めています。学びの循環と連動してスカウトたちの行動変容につながるような仕組みを整えます。



プログラムの詳細や学習コンテンツなどは、日本連盟 WEB サイトで順次公開します。県連盟経由での情報発信のほか、日本連盟 WEB サイトや本誌でも引き続きお知らせします。

ローカルホットライン

Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他

兵庫 ☒ めざせセーフティエキスパート ～地区結成70周年記念カブラリー～

尼崎地区 カブラリー実行委員長 鎌谷 明子



尼崎地区では、2021年12月5日に地区結成70周年記念カブラリーを開催し、地区内のカブ隊全員で新チャレンジ章「セーフティエキスパート」の取得に挑みました。

まずは、団ごとに事前組集会を実施。11月28日には全団統一組集会を行い、地区内の全カブ隊が安全(救急法、道路標識、災害)について学び、大型セーフティかるたを手作りしました。

カブラリー当日。スカウトは橘公園に集合し、受付を済ませると三角巾の復習をする団もちらほら。寒空の

下、午前のプログラムがスタートすると、「消火器体験、バケツリレーゲーム、尼崎消防団クイズ、救急法、三角巾、災害持ち出し品キムス」と6つのポイントを巡って課題をクリアしました。

午後は、尼崎第25団ドラム隊の迫力あふれる演奏と、手作りセーフティかるた大会。優秀賞やかなた大会の表彰もあり、楽しく充実した1日になりました。

参加スカウト77人には、無事、新チャレンジ章「セーフティエキスパート」が授与されました。

静岡 ☒ 60周年記念行事

三島第3団 団委員長 藤田 和夫

1961年に発団して2021年で60周年を迎えました。記念行事計画にあたり、若手指導者10人を中心とした実行委員会が1年半前から準備を進めてきました。

コロナ禍で8月に予定していた5泊6日の周年記念団キャンプは中止。記念行事も延期していましたが、12月に入りようやく実施することができました。

三島市立箱根の里をお借りして、バーからローバーまでのスカウト、育成会員など100人余りが参加。昼間はポイントゲームや育成会員の火起こし体験、ボーイスカウト隊の班サイト見学などを行い、夕方からキャンプファイアを行いました。

久しぶりの団行事で大いに盛り上がり、互いの絆を深めることができました。



維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます

2022年1～2月度

【北海道】	BS八千代2	日比野 幸男
渡邊 伸夫	根本企画工業(株)	阿部 健一郎
今井 憲克	【神奈川】	茂上 豊
佐藤 満雄	藤南 敏明	君塚 裕史
【青森】	【山梨】	木下 奉章
佐藤 正	中村 忍	竹内 進
【岩手】	清水 亮二	飯塚 正秀
尾形 善且	【東京】	坂内 清
BS盛岡5	山下 孝士	横堀 恵一
【宮城】	渋谷 達雄	BS板橋10
東海林 良雲	諸越 邦男	BS調布9
【茨城】	藤田 修	BS調布10
若山 藤男	入江 生夫	BS稲城1
【栃木】	望月 洋一	BS調布3
BS栃木県連盟	佐野 弘明	BS調布6育成会
【群馬】	花島 克夫	BSあすなろ地区
船津 保雄	呉 彰夫	BS練馬地区
市川 幸宏	安廣 正義	圓 成 寺
【埼玉】	吉野 博明	町田タイムズ社
牛山 佳久	西尾 健	加藤建設(株)
三日月 勝三	横溝 宏明	(株)イリ工
浅見 弘之	西澤 正之	【新潟】
斎藤 政之	山口 雅生	渡辺 誠
竹内 儀治	道上 隆	今井 浩二
佐藤 進	小澤 有明	渡辺 進
松田 一寿	安藤 潤	【富山】
【千葉】	小澤 文世	BS富山地区
花田 健二	佐々木 憲一	【石川】
森屋 啓	上山 公子	池田 壽男
太田 尻	平塚 吉直	山本 敏成
海老坪 聡	星名 英樹	内田 宏
小西 章夫	植松 弘幸	東本 晃一
杉山 智基	向井 宗晴	林 矩了子
鎗田 浩二	藤波 勝久	

【福井】	陶山 治男	南 秀生	【山口】	池田 信幸
高芝 和彦	和彦	黒田 茂	和田 昭宏	
【岐阜】	田中 忠彦	西脇 龍莊	【徳島】	矢野 勝視
太田 尚宏	尚宏	喜多村 憲一	岡田 裕	
【静岡】	岡本 護	枝根 秀男	北井 康裕	【香川】
上川 陽子	陽子	岡田 裕	清水 猛	宮野 義久
遠藤 哲史	哲史	【奈良】	友岡 清一	牟禮 有英
大沼 博政	敏彦	永広 逸子	【愛媛】	辰野 恵一
濱田 敏彦	寛	友岡 清一	友近 規	
田中 寛	実千雄	(株)永井 永井憲一	【高知】	矢吹 了一
【愛知】	澤田 清	【和歌山】	田中 章慈	
森 彰康	下坂 カメラ	森下 正紀	西田 昌弘	【福岡】
柴田 吉彦	渡邊 誠	藤 玄洋	下坂 カメラ	堤 寛
渡辺 久高	樽谷 進	高見 篤志郎	【佐賀】	平川 正道
BS武豊2	福田 雅之	福田 功	大串 和夫	
BS瀬戸6	膳師 功	小川 時弘	【宮崎】	鈴木 至
BS常滑8	山原 誠	山原 了二	【鹿児島】	村上 貞彰
BS東浦2	萩原 次郎	森田 利明	【沖縄】	島袋 義光
BS半田11	鈴木 利明	石原 有紀子	島袋 洋	宮里 啓和
BS岡崎5	林 夏代	【日本】	程 近智	
BS豊橋12育成会	岡村 誠子	植野 辰則	植野 辰則	【鹿児島】
【三重】	渡邊 大輔	BS犬上1	BS都窪2	【鳥取】
森 久司	石原 有紀子	【京都】	BS京都65	坪倉 顕示
【滋賀】	岡村 誠子	植野 辰則	渡邊 大輔	【島根】
岡村 誠子	植野 辰則	渡邊 大輔	BS犬上1	那須 智浩
【岡山】	植野 辰則	渡邊 大輔	BS犬上1	【山口】
植野 辰則	渡邊 大輔	BS犬上1	【広島】	高村 義則
【広島】	中国電力(株)	役員有志		【宮崎】
川勝 賢一				荒崎 修一



マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

1～2月に入会または1年継続された方々です。

【青森】	三浦 雅人	清呂 淳	【和歌山】	中谷 新治
相馬 雅之	【福井】	谷茂岡 泰	【大阪】	山下 正司
【岩手】	末永 正志	【岐阜】	大井 隆雄	横山 稔
【埼玉】	内山 豊和	【静岡】	川村 悦子	市橋 興宜
【千葉】	増田 秀夫	【愛知】	西山 考司	井口 雅公
田中 寛	藤高 功一郎	【鳥取】	坪倉 顕示	坪倉 顕示
大崎 厚	中尾 武志	【島根】	那須 智浩	那須 智浩
【神奈川】	佐野 友保	中島 裕次	【山口】	高村 義則
【山梨】	藤森 静男	高見 本子	【宮崎】	荒崎 修一
中村 忍	嶋田 寛	【鹿児島】	諸留 貴久	諸留 貴久
【東京】	村山 正	大塚 潔	【日本】	森永 高行
山崎 治男	山崎 伊佐緒	津田 繁	【鳥取】	水野 正人
福嶋 正巳	石井 琢磨	【兵庫】	藤原 健資	清水 美保
肥沼 裕史	山本 慎太郎	【奈良】	城戸 琢磨	出田 徳宏
成瀬 晃司	只野 重俊			大久保 清彦
水野 重俊				柳田 朝美
				増子 恵二



アイコン説明

- 舎営ができる
- 携帯電話が使える
- 食事施設がある
- 駐車場あり
- 川遊びができる
- 男女別のトイレがある
- 営火ができる
- その他

神奈川県相模原市藤野町佐野川1822

都心から70分のリフレッシュゾーン **桐花園**

<http://www.tokaen.jp>



この号持参でキャンプファイアをサービス!!

相模湖に近く、陣馬山、生藤山の麓に位置する緑に囲まれたキャンプ場です。

カブパック ※2泊以上 小人 ¥6,000 (1泊3食・税込)・寝具お持ち込みの場合 ¥5,500 (税込) / 大人 ¥6,800 (1泊3食・税込)・寝具お持ち込みの場合 ¥6,500 (税込)。
 *パンガロー・寝具(シーツ付)・入浴・食事付
 *3食の中で一部炊やカブ弁当も料金内で可能です。



T 0426-87-2239

F 0426-87-3159

M info@tokaen.jp

■収容人数/バンガロー・キャンピング200人[35棟]、民宿・合宿所80人、テント[10張] ■営業期間/通年 ■アクセス/中央自動車道相模湖ICより4km、JR中央線藤野駅より送迎あり



福島県耶麻郡裏磐梯五色沼入口1074-511

磐梯山一望 6,000坪 **みちのく野営場**

<http://www.r-michinoku.com>



T 0241-32-2109

F 0241-32-3000

M rim@agate.plala.or.jp



6,000坪の野営場は自然豊かな高原リゾート



磐梯山一望



リゾートインみちのく60名収容

五色沼へ徒歩7分 リゾートインみちのく60名収容 各種イベントご相談ください

- ・標高800mの裏磐梯は山と湖の国
- ・多彩なプログラム作成が魅力
- ・80帖の多目的ホール完備(雨対策)
- ・みちのくマイクロバス(29人乗)所有
- ・コース間の送迎もスムーズに!!
- ・キャンプファイヤー場有り
- ・磐梯山一望の露天風呂(檜・岩)有り
- ・野営・舎営の合同キャンプも可能
- ・食材の注文もOK
- ・ぜひ、下見にお越しください

■収容人数/野営場6,000坪 ■営業期間/通年 ■アクセス/磐越自動車道猪苗代・磐梯高原ICよりクルマで20分。JR猪苗代駅より東都バスで五色沼入口下車、徒歩7分



SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、令和4年7月1日発行

第18回日本スカウトジャンボリー

いよいよ今夏開催の18NSJ 開催直前情報をお届けします。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定/本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 『スカウティング』2022年5月号 No.749 令和4年5月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合は5月号から当該月号を同時に送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同時) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合は11月号から当該月号を同時に送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局「スカウティング」担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同時送付されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2022 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!

機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

SCOUT CATALOG

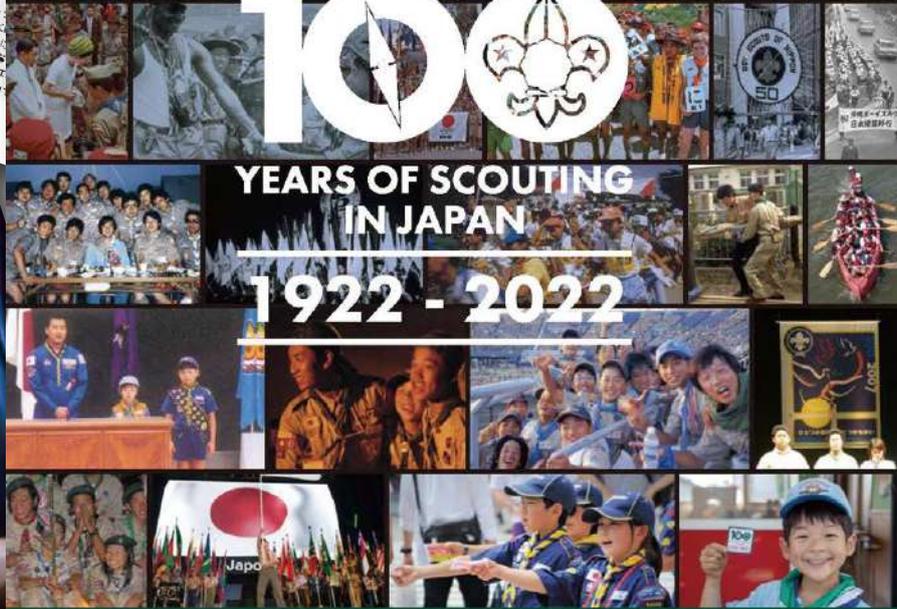
スカウト用品カタログ

2022-2023



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022



SCOUT SHOP JAPAN
Official Shop of the Scout Association of Japan

スカウト用品カタログ 2022-2023 公開!

2年に1度発行しております「スカウト用品カタログ」2022-2023をSCOUT SHOP JAPANのホームページに公開致しました。その他、ご要望の多かった制服・記章部分の部門別データも公開しております。

<https://www.scout.or.jp/scoutshop/>

印刷版は過年度同様、ペーパーレス化推奨に伴い、2021年度中に登録を完了している2022年度の団連絡先に各団3部ずつ発送済みです。その他、印刷版の入手方法はございませんのであらかじめご了承ください。



スマホでスキャン

カタログの表記に誤りがございました。ここでお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。 P11 新技能章 防災 誤: ¥165 正: ¥440



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan

各商品の発売情報や詳細は、各販売協力店や、ホームページ、各種SNS、ONLINE SCOUT SHOPのメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。



ゴゴカレー 公式通販

<https://jp.gogocurry.com>

SCOUTING 2022/5 749

スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
令和4年5月1日発行（奇数月1日発行）

発行 公益財団法人ホーイスクウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ホーイスクウト日本連盟

4 931187 663251



5月5日は ゴゴカレー ジャムボリー

石川県でスカウトのみんなと出会ったとき14歳だったゴゴカレーは18歳になりました。
All OVER JAPANのジャムボリーを
今年も応援します!



開運! コリラの元気が出るYouTubeを配信中。チャンネル登録をお願いします!



元気の源
ゴゴカレー®